東京都立武蔵高等学校
同窓会事務所
〒180-0023
武蔵野市境 2-10-24
第二ときわビル2F
Tel & Fax 0422-53-5270

武蔵

40
2005. 5.10

今年の特別イベント

高女１回生（昭和20年卒）～高校４回生（昭和27年卒業）の皆様を、会費無料でご招待いたします（詳細は３頁をご覧下さい）。



▲ 澤乃井櫛かんざし美術館「桜文様 象牙 櫛・簪・笄」小澤　萬里子（昭和22年卒 高女３回後期東組）

今年の同窓会・懇親会　総会

日　時　6月5日（日）13時受付開始
13時30分総会開始
場　所　武蔵野スイングホール
（武蔵境駅北口２分）
催　事　箏とパイプオルガンの
コラボレーション
懇親会　レインボーサロン（同ホール11階）
会　費　一般会員　2,000円
学生会員　1,000円
新卒会員　無料
出　欠　ご出席の方は、同封の返信用はがきでお知らせ下さい。

平成16年度(17年3月)卒業生同窓会幹事氏名

A 組
B 組
C 組
D 組
E 組
F 組
G 組
H組

ご挨拶



同窓会会長　土屋　正忠

同窓会の皆さん、それぞれお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

母校、都立武蔵高等学校は、おかげ様で全都の中でも屈指の優秀校として活躍をしております。とりわけ平成20年には、都立高校改革の波に乗って中高一貫教育を施行することになりました。現在のところ高等学校１学年５クラス、中学校１学年３クラスの計24学級になる見込みです。エリート高女として始まった母校が、男女共学になり、また中高一貫教育に変貌していく、まさに60有余年の歴史を感じます。井田校長先生以下、現在の指導者の先生方のご努力を見守り、バックアップしたいと存じます。

さて、同窓会の役割は、会員相互の親睦、ネットワーク作りと現役への支援です。今年もこの２つの目標をしっかりと掲げて、会の運営を行っていきたいと存じます。６月５日（日）には、同窓会総会を開催いたします。アトラクションには母校出身の日本を代表するオルガニスト酒井多賀志さんと、箏の名手である大浦美紀子さんのジョイントコンサートを企画しております。また、特別ご招待として草創の頃の高女時代の皆様方をお招きすることといたしました。どうぞお楽しみにお出かけてくださいますようお待ちしております。それでは６月の総会でお目にかかりましょう。

◇◇ 笑顔が集う同窓会総会・懇親会 ◇◇

今年のアトラクションは　箏とパイプオルガンのコラボレーション!!

今年の同窓会のアトラクションは、雅やかな箏と荘重なパイプオルガンのジョイントコーサートです。

この異質な組み合わせにチャレンジしてくださるのは、それぞれの分野でわが国のトップクラスの演奏家として認められている、大浦美紀子さんと酒井多賀志さん。共に、都立武蔵高校の同窓生という縁が、今回のジョイントコンサートを実現させました。



酒井多賀志さん

大浦美紀子さんは15回生。東京芸術大学音楽部邦楽科を卒業後、演奏会、ラジオ・テレビ出演、レコード吹き込みなど演奏活動の傍ら、1983年から同校非常勤講師として後輩の指導に当たってきました。

酒井多賀志さんは、18回生。1970年、東京芸術大学在学中に万国オルガンコンクールで最高位入賞を果たし、バッハとフランクを中心に古典から現代までとレパートリーは広く、この分野の第一人者として内外に認められています。



大浦美紀子さん
（2000年６月の同窓会で）

新しい同窓会名簿ができました



新しい同窓会名簿

新しい「武蔵高校同窓会名簿」が完成しています。

今回の同窓会名簿は、昭和20年３月卒の高女１回生から平成17年３月卒の高校56回生までを収録した、700ページを越す堂々たるものになりました。

今後、都立武蔵高校の中高一貫校への転換、個人情報のセキュリティ問題、さらに、社会のIT化の進行などによって、印刷媒体による会員名簿の発行は難しくなることが予想されています。状況によっては、今回のものが最後の同窓会名簿になる可能性があります。

新しい「武蔵高校同窓会名簿」をこの機会にぜひご購入ください。

ご購入希望の方は、同窓会事務局にお申し込みください。代金の振込みがあり次第お送りいたします。

６月５日（日）の同窓会会場でも、小部数ですが頒布いたします。どうぞご利用ください。

一部3,500円　(送料込み)

17回生(昭和40年3月卒)
ホーム・カミング・ディ
武蔵を卒業して40年！！

６月５日の同窓会は、昭和21年～22年（この限りではないけれど）に生まれた私たちが集うことになっています。久しぶりにお会いして、新しい出会いが生まれるかもしれません。

人生の次のステージの事が気になってきているこの頃です。２年前に開いた同期会では、60歳をチャンスに、「歌ったり、踊ったり、絵を描いたり、書を書いたり、ハイキングしたり、旅したり、おしゃべりしたり」等々で、大人の愉快な日々を送りましょうと約束して別れました。とうとうその日が近くなってきました。

楽しみな17回生です。

高木　牧子(旧姓　長谷川)１７回生Ｆ組

懇親会費無料ご招待
高女１回生から高校４回生の皆さん

今年の同窓会総会は、高女１回生から高校４回生まで、生徒が女性だけだった時代の皆さんを、懇親会費を無料で特別ご招待することになりました。

これは、これまで同窓会を支えてくださった大先輩に感謝の気持ちを込めた企画です。

該当する同期会、クラス会の幹事の方々には、皆様にお声をかけて、おそろいでご参加くださいますよう、お願いいたします。

会場全体がスイング!!

昨年のアトラクション
「ノーザン・シックス・ビッグバンド」

昨年の同窓会総会は、アトラクションに出演してくれた「ノーザン・シックス・ビッグバンド」の皆さんによって、大いに盛り上がりました。



このバンドには武蔵の同窓会員が４名参加しています。

軽快なスタンダードナンバーを中心に構成された演奏に、観客は大喜び。会場全体がスイングするほど盛り上がり、アンコールの拍手が鳴り止みませんでした。



クラス・同期会・クラブOB会だより

◇ 飛行機工場の女たち ◇

高女３回生は、昨年10月29日に同期会を開き、昭和飛行機工業（株）の見学をした後、ホテルで食事会をしました。

彼女たちは、在学していた戦時中、勤労動員されて、昭島にある飛行機工場で軍用機の製造にあたっていたのです。

1974年８月に、そのころのさまざまな思い出をまとめて、冊子「飛行機工場の少女たち ~ 女学生勤労動員の記録」を自費出版しましたが、この復刻版を、同窓会が創立50周年事業として刊行しました。（同窓会の図書コーナーにも配架されています）

今回は、当時の飛行機工場を見学するということもあり、南は九州、北は仙台まで、京都、富山など、全国に散っている同期生が40名以上あつまり、当時の思い出に浸りました。

過酷な時代、昭和・平成を頑張って生き抜いてこられた60年前の少女たち。長く離れていても、会えば安心して少女のころに戻れる、深い友情に結ばれた幸せも感じられるとのこと。武蔵高女の教育と若いころの体験があったからでは、と振り返っておられます。既に喜寿の同期会も予定されているとのこと。健康に留意され、明るく前向きに、ずっと長生きをしていただきたいものです。



高女３回生同期会幹事、参加された方のお手紙を預かり、企画広報委員が記事にしました。

原　稿　募　集　中

クラス会や同期会、クラブＯＢ会などを開催したら、その報告原稿をお寄せください。

◎ 字数４００字程度。
◎ 写真付きで。
◎ 総会以後に開く場合の予告や呼びかけ文も歓迎です。

同窓会事務局まで（紙面の都合で、編集させていただく場合もあります）

お元気ですか！ 会員・教員の消息

人生は70歳から

中本 保子

私は家庭科教員として、昭和45年から、退職する昭和57年まで、12年間武蔵高校におりました。

食べ物などクロレラでよい、と食物実習を拒否した生徒さん。こんなこと無用と被服の授業を否定した生徒さん。どんなお母さんになられているかしら。多くの生徒さんは多才な能力を発揮されて、すばらしい研究発表をしてくれたので、私は嬉しくて、楽しくて、武蔵高校での12年間は最も充実した生き甲斐ある日々でした。テストは小論文型式にして、授業時間中に行うようにしました。採点は大へんでしたが、国語力アップには役立ったのではと思っています。いま、大学入試の小論文採点は機械ですると聞いてびっくりしているところです。



私は早くに夫を交通事故で失い、一家の働き手になりましたから、女子必修の家庭科の存在は大矛盾だったのです。中学の技術家庭科の男先生たちと交流して勉強し、共学への方向をさぐり続けました。ようやく平成７年に男女共修が実施されるようになりました。

育児休業制は昭和52年に法制化され、男女共にとれるようになっているのですが、定着するのには時間がかかり、まだ男性がとりにくい状態のようです。

退職後は主婦にもどり、娘の共働き家庭を助け、次々に生まれる孫たちの保育支援と、老母の介護に励みました。それが終わったとき、私は70歳。晴耕雨読、悠々自適の我が人生がはじまったのです。今、健康で生きる喜びに満ちた80歳代を過ごせるのは、平和のおかげ、よい環境のおかげです。従って今の願いも、平和なよい環境の社会でありつづけることです。同窓生のみなさん、特に中年以上の男性方は、ご自分の健康管理を大切になさって、男性の平均寿命をのばして下さい。

歌集「夢に降る」

唐澤るみ子さん（９回生Ｅ組）が、昨年８月、歌集『夢に降る』（風濤社刊）を出版された。世間にありがちな、ささやかな歌集というのではなく、装幀も見事な207ページにおよぶ大冊の連作歌集である。

内容もまた重い。なにしろ冒頭に置かれているのが、アルカイーダ掃討作戦下のアフガニスタンに思いを寄せた「空爆」と題する連作である。「私が、群をなして飛来するＢ29に逃げまどい、防空頭巾を被ったまま終戦を迎えたのは、六才の時でした。今その子が、再び戦争と腕を組もうとしているこの国を見つめ、泣きながら私の胸を烈しく叩き、叩き止めない」（「あとがき」より）という作者の60年を経ても風化しない原体験の記憶と戦争に対する切迫感には、日頃は短歌など無縁の編集子も思わず居住まいを正してしまう。連作から抜き書きするのは失礼ながら、目に止まった一首。

〈舌を吐く蜥蜴の勢ひ美しき
言ふべきは言ふ真夏の蜥蜴〉

雲が低くたれこめるような連作のなかで、このトカゲには励まされるような気がした。もちろん題材は戦争に限らず、むしろ日常に取材した歌のほうが多いが、ともあれ社会や人生に真摯に向き合う同窓生がいることに安堵感をおぼえる歌集ではある。

お元気ですか！ 会員・教員の消息

おめでとう！是枝監督

昨年５月、是枝裕和監督作品『誰も知らない』がカンヌ映画祭コンペ部門に正式出品され、主演柳楽優弥くんの好演が評価されて日本人では初の最優秀男優賞を受賞するという快挙を成し遂げました。優弥くんに代わって賞を受け取っていた是枝監督の姿をご記憶の方も多いでしょう。

昨年の同窓会懇親会の席でも紹介があったように、監督の是枝裕和氏は武蔵生（33回生Ｆ組）。久々に明るい話題が提供されて、同窓生としては映画ファンならずとも快哉を叫びたくなります。

『誰も知らない』はその後もフランダース国際映画祭やシカゴ国際映画祭などで次々に受賞、国内でも報知映画賞・邦画部門で最優秀作品賞を受賞するなど、この一年間の国内外の映画賞を総ナメ状態です。是枝監督の過去映画作品も連続上映されて話題は沸騰、監督の多忙さがホームページからも伝わってきます。さあ、是枝監督のあとに続く同窓生はいませんか。

ムサシの思い出

田沼 祥子（高女１回生北組）

1940年入学。今年３月全員喜寿。北組は毎年クラス会を開き20人は集まる。武蔵境校地は３年のときから。身の丈の雑草を鎌で刈り取り校庭整備。畑をつくりコエダメの肥料で育てたサツマ芋が卒業謝恩会のご馳走。オカラで廊下をみがきトイレも自分たちで掃除。在学中の半分近くを兵器工場でセンバン作業。事故でユビを落とした友もいる。

空襲下、苦楽をともにした仲間のキズナは固い。うれしいことは、三輝容子の紫綬褒章。ゲンキで仲良く生きたい。

志津止女子先生追悼

〈死がどこかで待っているような
いつもかすかなおびえの中に生きて‥‥〉

志津麻子の名で出版された詩集「サイレント・ストーン」巻末の詩から。

ひつぎの中で、91歳の先生は幼女のように微笑んでいらした。最後にお目にかかったのは井の頭公園に近いご自宅の庭。

「お菓子が余るでしょ。ぶどうの根元を掘って埋めちゃうの。それで甘くなるのよ。」首をかしげて、いつものように。

「ほんとですか？」「フフッ」とあの笑顔。記憶を手繰りつつ、ご冥福をお祈りして。

（３回生Ｄ組　碧海酉癸）

高橋努先生追悼

ブラバンは総合芸術だ！なんて、演奏そっちのけで議論にふけり、パフォーマンスにはまった私たちを、顧問としていつも暖かく見守り、楽器借用や学外活動等ではちゃんと責任を負って下さって。音楽以上に、若者のチャレンジを受けとめる大人の姿を学んだような気がします。

葬儀の際には中編成バンドでしたが、夏までには大々編成で送ります。高橋努先生、ありがとうございました。

なおＯＢは、以下をチェックしてください。
http://jbbs.livedoor.jp/music/9619/

（37回生Ａ組　志岐祐一）

謹んで哀悼の意を表します

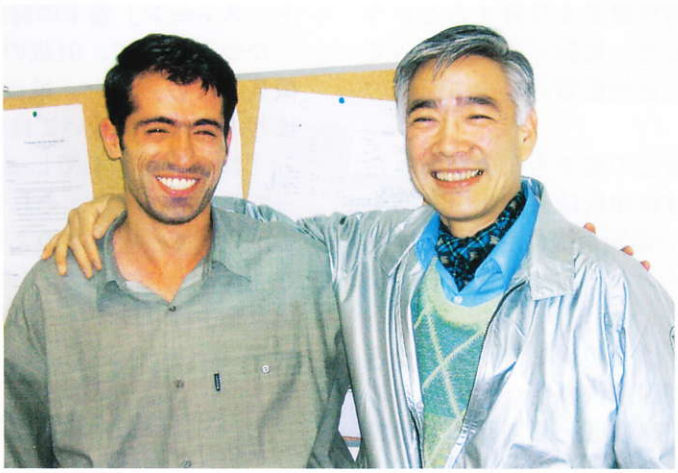
昆布谷年尾 先生	2004年4月29日
田原　秀一 先生	2004年3月30日
高橋　　努 先生	2005年2月17日
志津　輝雄 先生	2004年11月16日
志津止女子 先生	2005年2月18日

昨日・今日ー近頃の私…

槙島　敏治（昭和44年卒　21回生H組）

国際救援は楽し

高校時代の私は生物部でウサギやニワトリの解剖ばかりしていました。そのため旧生物教室の裏庭は犠牲になった動物のお墓だらけになっていました。その甲斐あってか、外科医となって人間様の手術をするようになってもう27年になります。また、日本赤十字社の病院に勤務したのがきっかけで赤十字の国際救援に携わるようになり、現在は国際医療救援部という病院には珍しい部を組織して活動しています。



イランのバムで、イラン赤新月社の仲間と（右）

私の場合は、ルワンダ、コソボ、アフガニスタン、イラクなどの難民救援やインド、イラン、スマトラなどでの地震災害救援、そして、ロシア、中央アジア、インドネシア、モンゴルなどへの医療支援の調査などが主な活動ですが、国内の災害救護のための教育や訓練も行っており、新潟中越地震では被災者のこころのケアも進めています。

最近の例ではイランが挙げられます。イラク危機では大量のイラク難民が隣国のイランに流入すると予想されたため、２回にわたりイランの1,800kmにわたるイラク国境沿いを旅し、23箇所の難民キャンプの調査と準備を行いました。それもつかの間、その後イラン南東部地震が発生、今度は日赤からの医療チームのリーダーとして出動し、被災地のバム市に仮設診療所を開設し被災患者の医療を開始しました。初動チームとしての活動は１ヶ月間で終了し帰国しましたが、２ヵ月後、今度は撤収チームのリーダーとして派遣されたのです。結局、１年あまりの間に計４回、約４ヶ月間イランに行った事になります。イランはイスラム国ですので赤十字ではなくイラン赤新月社といいますが、おかげで多くの友人ができ、今もメールのやり取りを行っています。また、バムでは日本語を話せる方々に通訳のボランティアをしていただき大変助かりました。彼らは1,200kmも離れたテヘランから手弁当で駆けつけてくれたのです。その中心になってくださったのがイランに帰化して60年になられるという日本人女性でした。

私たちの活動はこうして世界のさまざまな人たちと触れ合える恵まれた仕事だと思います。そして、２月の末からはスマトラ沖地震の救援でスマトラ島のアチェにまた医療チームのリーダーとして出動する予定です。



バムでの日赤の医療チームのメンバーと（左端）

昨日・今日ー近頃の私・・・

浅野　絵里（昭和63年卒・40回生Ｆ組）

留学による異文化体験

2003年の７月から、留学のため米国に滞在しています。私自身、海外旅行は好きでしたが、住むという経験は初めてでしたので、とまどうことも多いながら、日々様々な経験をしています。

最初は、カリフォルニア大学デービス校のサマースクールに通いました。デービスは、大学中心ののんびりした田舎町です。日中38度以上にもなる暑さの中、大学の寮から校舎まで、授業と寮内での３食の食事のたびに、芝生や木々の緑が鮮やかなキャンパスの中を10分ほどかけて自転車通学しました。東京での夜遅くまで仕事中心という生活と落差のある毎日に、最初は慣れない気持を覚えつつ、留学に来たのだなと実感しました。



勤務するオフィスのロビー。映画「コラテラル」(2004年)「バニラ・スカイ」(2001年)の撮影現場となった。

８月後半からのニューヨーク大学ロースクールでの１年間は、思った以上に予習・復習に追われる日々でした。大学の寮に住み、アメリカ人の学生とルームシェアをし、各国からの留学生と交流しながら生活する中で、充実した１年を過ごせました。

昨年の９月からは、ロサンゼルスにある法律事務所にて研修をしています。米国において、特有の訴訟手続きや契約交渉などの実務がどのように行われているかを経験する中で、日本の法制度及び実務との相違点・共通点を体感しています。研修先の事務所では、150人ほどの弁護士がそれぞれの専門に特化した仕事を行っています。日本の法律事務所と異なるのは、裁判所に行く場合など除いて、普通のシャツやニットなど比較的カジュアルな服装で構わないところ、また忙しいながらも家族を大事にし、夜も意外と早く帰る人が多いところ、などでしょうか。カリフォルニア自体は、非常に天気が良くラテン系・アジア系の人も多いことから、外国人に寛容で大らかといった印象を受けます。

思い返せば、武蔵高校にいた頃から、海外に関わる仕事には興味がありました。実際に仕事でも、今回生活の面でも外国に関われたのは有難いことだと思っています。また、その中で改めて日本の良さも見直すことが出来た気がします。あと数ヶ月ほど米国に滞在しますが、様々な経験を今後に生かしていきたいと思います。

ジョーンズ・デイ法律事務所勤務
連絡先：[redacted]



ニューヨーク大学の学位授与式

現役クラブ活動紹介

オカケンの今

＜お菓子研究部＞

私達お菓子研究部は、現在女子９名、男子１名で、週３回仲良くやっておりますが、なにせ皆素人のため、失敗ばかりしています。つい先日、おしるこを作った際も、白玉粉と上白粉を間違え、さらに水の分量を間違えたため、でろでろになったモチ生地を１時間かけてろ過するハメになりました。

入学当初は卵も満足に割れなかった私達ですが、先達方の特訓の下、粉さえ間違えなければ、みんなに喜ばれるおいしいお菓子が作れるようになりました。去年の文化祭では、321個のケーキが10分で売り切れました。レパートリーも徐々に増え、部員は皆、大好きなお菓子づくりを極めています。長年に渡って改良を重ねられてきたパウンドケーキは、桜台米店のバームクーヘンに匹敵する美味しさです。



今は、来る２月14日に備え、バターをこねくり回しています。もし失敗したら、桜台米店のバームクーヘンを買いに行きます。

ところで、代々伝わる秘伝の油は、そのヌメリを失い、たまり醤油の様になっていたので、意を決して捨てました。OB・OGの皆様、エコナを持って遊びに来て下さい。

木村　納菜

星に魅せられた人々

＜天文部＞

私たち天文部は現在１年生７人、２年生12人、合計19人で毎週水・木曜日に活動しています。しばらく休部状態でしたが、２年前に復活しました。



天文部の活動として昨年度11・12月に３回、２・３月に３回の天体観測会を行いました。何回かは天候不良で中止になりましたが、晴れた日は惑星を中心とした観測を行いました。

最初はどの部員も望遠鏡の使い方に慣れていませんでしたが日に日に上達し、今ではスムーズに望遠鏡で見たいものを捕らえられるまでになりました。現在天体写真を撮れるよう努力しています。月の写真は武蔵高校のホームページに載せていますので、是非ご覧下さい。

文化祭では学校から見える星座を調べ、暗くすると光る星型シールを使って展開図を作りました。また、普段の観測会の様子をまとめて展示しました。文化祭を見に来てくれた人たちに楽しんでもらい、とてもよかったです。そしてOBの方には文化祭の準備で協力していただき、ありがとうございました。

来年度は天体観測会の日程を増やし、文化祭の発表に向けて頑張ります。そして部活動を通じてすべての部員が今まで以上に「天文部に入ってよかったな」と思える活動をしていきたいです。これからも応援をよろしくお願いします。

大菩薩ヒュッテ



夜　空

貴重な財産・大菩薩ヒュッテ

フリーライター・寺田政晴



大菩薩ヒュッテを訪れる皆さんがふだん言うところの「大菩薩」とは、大菩薩嶺から大菩薩峠、及び上日川峠周辺をイメージされているのではないでしょうか。大菩薩について少し詳しく言えば、秩父山地（または奥秩父山塊）の一端にあたり、北の柳沢峠から南端の笹子峠へと続く主稜線と、そこから派生する支脈上にそびえる山々によって形成された山地で、登山エリアとしては「大菩薩連嶺」と通称されています。東西約20キロ、南北約30キロというコンパクトな規模ですが、標高2057メートルの大菩薩嶺を主峰として1500メートル以上のピーク十数座を数え、植生は亜高山帯に及び、クマ、シカなどの大型動物も生息する豊かな自然に恵まれた山地なのです。

また、大菩薩の山並みは関東平野と甲府盆地を文化的、経済的に区切る障壁とされ、山梨に独自の風土を形成させた要因とも言われています。大菩薩峠も、中里介山が小説で描いたように着流しの浪人が越えられるような峠路ではなく、多摩川上流の孤立した寒村丹波山、小菅へと、甲府盆地から生活必需品を補給するための道でした。しかも、地形が険しく道程が長いため、双方の人が物資を中継ぎ場で取引するという特別の方法がとられていたのです。大菩薩の魅力は変化にとんだ自然にあるのはもちろんですが、人文的にもじつに興味深いものがあります。武田家滅亡の歴史を残す大和の里、謎の多い平将門の末裔が住んだと伝えられる奈良子の谷、おいらん淵の哀話で知られた黒川金山の盛衰など、山麓には数多くの史話が残されているのです。自然、人文ともに豊かな大菩薩の一角に建つ武蔵高校ヒュッテは、私の知るかぎり公立高校が保有する山小屋としては関東圏唯一のものです。さらに、山岳部OBたちのボランティ

終（つい）の仕事

高女三回後期東組　小澤　萬里子

武蔵卒後、六十年近い年月が流れた。戦争は兎も角、さしたる有為転変もなく平凡な主婦として一生を終わると思っていたのに、夢にも思わなかった料理屋のおかみ、七十才になってやっとおつとめも修了。の筈が、またまた夢にも見たこともない「櫛かんざし美術館」の運営にたずさわることになってしまった。

この美術館は、櫛かんざしの蒐集に並々ならぬ情熱と年月を傾けた京都出身の一人の女性のコレクションを基にしているが、江戸時代の工芸美を単に女性の髪飾に見るばかりでなく、封建時代の一人一人の女性の風俗史、ひいては日本文化の特性など、感動と発見が余りに多く、この為に必要な勉強と、私自身の残された時間と戦いになっている。

封建時代に生きた女性達の生命力と知恵、個性と美的センス、また外国の未知なる風物に素直に反応して吸収する知的好奇心も新鮮であり、むしろ自由平等の現代が、如何に貧しく、自然への怖れも感謝もなく、大切にする小さな、一枚の櫛さえも持たないことに淋しさを感じる。ひっそり遺された、かくれキリシタンのクルスの簪の切なさも是非見ていただきたい品である。



小澤萬里子 さん

そうした時代背景をよく理解していただく為に関連の衣裳や身装品も加え、より美しく充実した美術館にしたい、日本女性の一生に重ねて、私なりの女の一生のまとめをこの仕事にかけている日々である。



澤乃井櫛かんざし美術館

平成17年度　退職・転出入者名簿

卒業生 22,473名　住所不明者及び物故者 5,969名